

事務局報告

第27回断層映像研究会は平成10年11月13日（金）14日（土）浜松医科大学放射線医学講座 金子昌生教授による学術大会長主宰で浜松市JR浜松駅前アクティ浜松コンgresセンターで盛大に開催された。研究会への参加は150名でした。特別講演はNorth Carolina大学放射線科MRI部門のRichard C. Semelka助教授がMRI of the Liver: Techniques and Contrast Agents及びMRI of the Abdomen: Imaging Approachesの2題を各45分づつ、熱の入った名講演で、会員に感銘を与えてもらいました。この特別講演は総説論文として本誌に投稿していただきました。

MRI of the Liver: Techniques, Diseases and Contrast Agentsとして本号に掲載されますので、御高覧下さい。

例年通り、教育講演は世話人の推薦で全国から若い演者を中心に10題、時間が20分と限られていて演者には大変御迷惑をおかけしましたが、内容は非常によくまとまった模範的な講演でありました。演者に深く御礼申し上げます。一般演題は口演23題、展示12題で、その他にホームグラウンド・レクチャーとして浜松医大 竹原康雄講師による「MR動態画像研究」の口演及び、特別展示として、中国天津医大、王成綱助教授による「大腿骨頭虚血性骨壊死におけるIVR前後の血行動態」の報告もあった。これは中国における骨壊死に対する新しい治療法の紹介であった。年々大盛会であるフィルムリーディングセッションは、前回と同様第2日目の正午に主として静岡県の施設からの症例に対し、全国の若手の先生方の協力により、めでたく楽しい時間を過ごすことが出来たのは主催者として大変喜ばしいことでした。参加された方に厚く御礼申し上げます。

第1日の午後1時より総会が行われた。その議事を以下に記述する。

1. 平成9年度事業及び決算報告、並びに収支決算書の監査結果（藤井恭一、鈴木謙三両監事による署名捺印済）が世話人会の議を経て、総会に報告され、承認されました（72頁）。
2. 平成11年度（H11.4.1～H12.3.31）の事業及び決算案が所定の手続きを経て総会で承認されました。（73頁）。
3. 会誌の発行は、宮田伸樹編集委員長から、第23巻2号（H9.3.30）の発行以後の経過報告及び、第24巻1・2号（H10.12.30）、第25巻1・2号（H11.3.31）の発行予定について説明があった。なお、平成10年度総会以後、編集委員長の交代が認められ、新委員長に埼玉医大総合医療センター放射線科学教室 町田喜久雄教授が就任された。長い間の宮田伸樹編集委員長としての御活躍に心から御礼申し上げます。
4. 次期平成11（1999）年度の第28回断層映像研究会学術大会長は京都府立医大放射線医学教室 前田知穂教授です。会期は平成11年11月4日（木）、5日（金）、京都市に於て催されます。
5. 次々期平成12年（2000）年度の学術大会長は、熊本大学医学部放射線医学教室 高橋睦正教授が決定されました。
6. 本研究会の現会員数は494名です。
7. 事務局は平成11年度（H11.4.1）より浜松医科大学放射線医学教室（金子昌生）から日本大学医学部放射線医学教室（田中良明教授）に移管されることになりました。宜しく御了解の程お願い申し上げます。

（事務局 金子昌生）

平成9年度収支決算報告書
(自平成9年4月1日 至平成10年3月31日)

1.収入の部			2.支出の部			
項 目	予 算 額	収 入 額	項 目	予 算 額	支 出 額	備 考
会 費	2,700,000	2,135,100	報 償 費	100,000	60,000	事務手当
利 子	10,000	1,764	賃 金	100,000	0	
前年度繰越	1,290,000	1,790,339	旅 費	800,000	724,000	将来計画委員会等
			需 要 費	200,000	91,297	印刷費、事務用品費
			役 務 費	400,000	214,460	発送通信費等
			使用貸借料	50,000	107,265	会議室等
			負担金及び 補 助 金	2,150,000	455,203	研究会1回 編集業務費
			予 備 費	200,000	0	
			次年度繰越		2,274,978	
合 計	4,000,000	3,927,203		4,000,000	3,927,203	

次年度繰越内訳

郵便貯金	1,180,712円
銀行普通預金	356,618円
銀行貯蓄預金	42,019円
現金	695,629円
合 計	2,274,978円

平成 11年度 収 支 予 算 書

1.収入の部

項 目	予 算 案	備 考
1. 会費	2,700,000	6,000×450人
2. 利子	2,000	
3. 前年度より繰越金	1,600,000	
計	4,302,000	

2.支出の部

項 目	予 算 案	備 考
1. 報償金	100,000	事務手当
2. 賃金	150,000	アルバイト料
3. 旅費	750,000	委員会等
4. 需要費	200,000	印刷費、事務用品等
5. 役務費	300,000	会誌発送等、通信費
6. 使用貸借料	100,000	コピー、会議室等
7. 負担金及び補助金	2,000,000	研究会1回、会誌2刷
8. 予算費	702,000	
計	4,302,000	